

近縁な植物の比較

キクザキイチゲ・アズマイチゲ

小林 浩 二

キクザキイチゲ (きんぼうげ科) [写真1・2]

生育地・生育型：山林の林床に生える多年草。

茎・葉：地下茎は白く横に這い太さは一様で紡錘形にふくらむことはない。地下茎の先端から1本の茎を出して苞葉を3枚つける。苞葉は羽状に深く切れこむ。

花・果実：花は茎の先端に1個つく、がく片は9~12枚、花弁の様で白色~淡紫色といろいろある。めしべおしべ共に多数。

ノート：本種はアズマイチゲに似ているが、苞葉は深く切れ、柄の部分が広がることで区別できる。

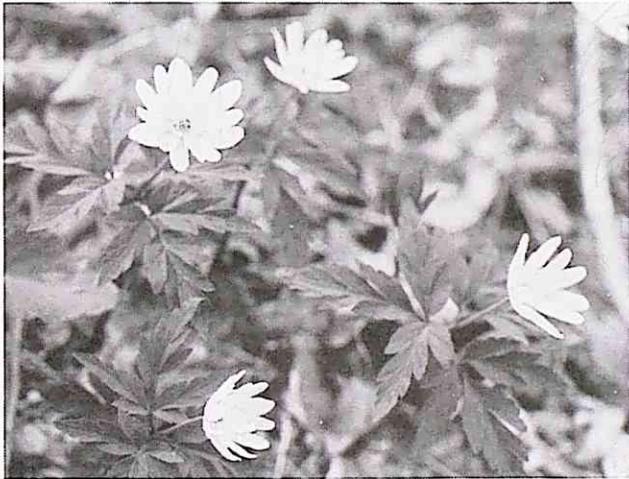


写真1 キクザキイチゲ
北蒲原郡加治川村大峰山



写真2 キクザキイチゲとカタクリの混生
西蒲原郡巻町角田山

アズマイチゲ (きんぼうげ科) [写真3・4]

生育地・生育型：山麓の落葉樹林下等に生える多年生草本。

茎・葉：根茎は地中を横に這い、ところどころ紡錘形にふくらむ。根生葉は2回3出の複葉。花茎は1本で3枚の葉(総苞葉)がある。苞葉は柄に翼がなく、小葉にわかれ、切れこみは少ない。

花・果実：花茎の先に1個の花をつける。花弁状のがくが10枚前後あって色は白色。おしべめしべ共に多数、子房には細毛がある。

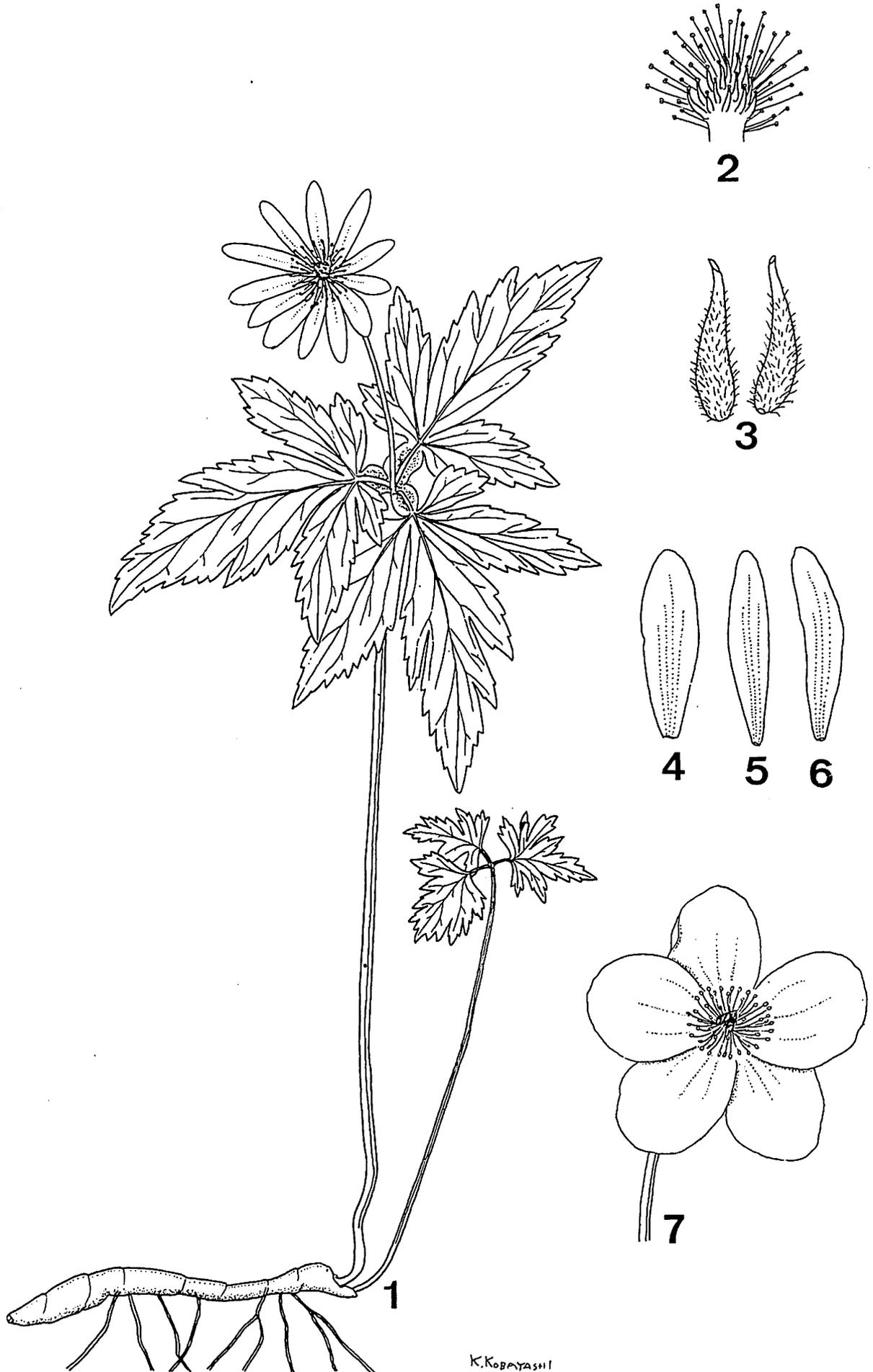
ノート：県内には広く分布するが、海岸部それに続く丘陵地・阿賀野川沿いに多く、山地には少ない。主に海拔300m以下にあり、高所には分布しない。



写真3 アズマイチゲ群生 西蒲原郡弥彦村弥彦山 520m
April 20, 1995



写真4 アズマイチゲ 西蒲原郡巻町五ヶ浜 30m
March 21, 1995



キクザキイチゲ

K.KOBAYASHI

図1. 全形×0.9

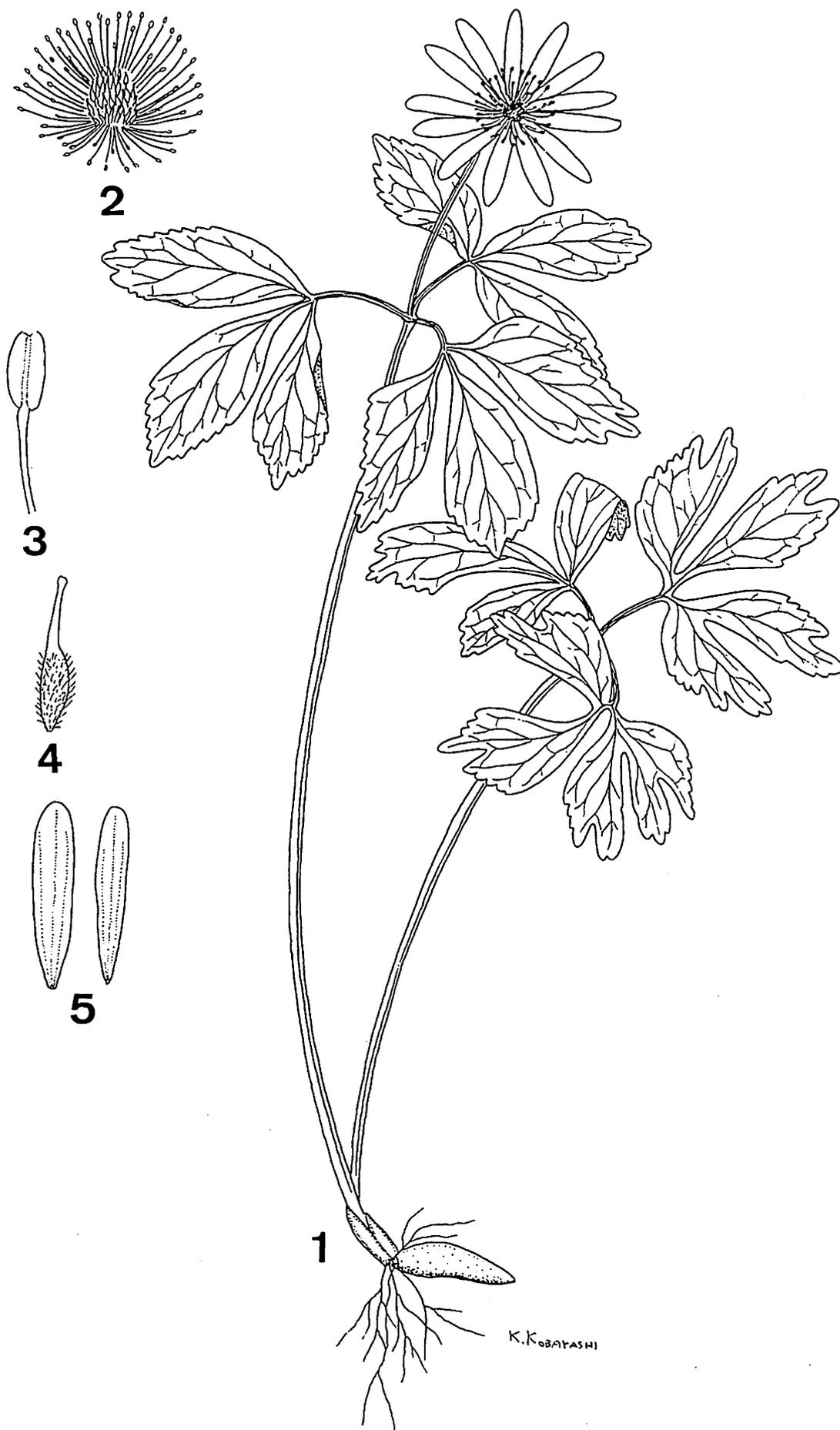
図2. めしべとおしべ×2

図3. おしべ×15

図4. 5. 6. がく片×1.5

図7. イチリンソウの花×1

採集地：西蒲原郡巻町稲島角田山[1994年4月20日]



アズマイチゲ

図1. 全形×0.9

図2. めしべとおしべ×4

図3. おしべ×25

図4. めしべ×13

図5. がく片×1.5

採集地：西蒲原郡巻町角田山湯之腰[1995年4月10日]